

ROBOHELPER SASUKE (RS1-12Y-B) の特徴



使い方は簡単・抱き上げ式の優しい移乗



(※ベッド下の高さ7cm必須です。床材によりベッド下の高さは10cm必要な場合があります)

仕様 適用体重：120kg以下
適用身長：180cm以下
電源：リチウムイオン電池
充電時間：約2～4時間



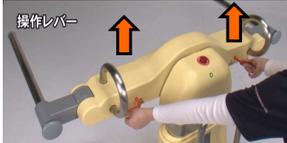
ホームページQR



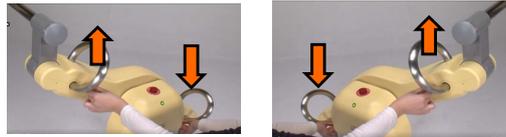
動画QR

使用の手順：左右のレバーで簡単操作 ↑↓

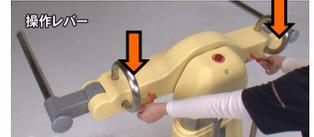
【ステップ1 抱き上げる】



【ステップ2 傾ける (起こす・寝かせる)】



【ステップ3 降ろす】



移乗のイメージ (ベッド～車いす)



【ステップ1 抱き上げる】

ベッド上から抱き上げ



移乗する場所に移動



【ステップ2 傾ける (起こす・寝かせる)】

適した姿勢に調整 (臥位～座位)



【ステップ3 降ろす】

車いすへ着座

※ 車いすからベッドに戻る際は、この逆を行います

- ①介護をおこなう方は、SASUKEの左右のアームを専用シートの両端に差込み、シートごと介護をうける方を抱き上げます。操作はシンプルで軽い力でできます。
- ②介護をうける方がシートごとベッドから上昇したら、ベッドから移動し、左右の操作レバーで適切な姿勢を調整(起こす・寝かせる)します。
- ③介護をうける方を車いすに降ろします(着座)。

ROBOHELPER SASUKE (RS1-12Y-B) の特徴



介護をうける方にもおこなう方にもやさしさと安全を

特徴

- ベッド⇄車いすの移乗をアシストします。専用シートで身体全体を支えるので、体圧分散し安定感があります。(※図1)
- お姫様抱っこのように抱え上げるので揺れも少なく、身体の上を遮る機器もありません。介助おこなう方は、対面で顔色や全身の様子をみながら移乗介助ができます。
- 操作や手順は簡単。臥位から座位まで自由な角度と高さに調節でき、ベッド上での臥位姿勢のまま抱き上げることも可能です。
- 車いすは標準型、リクライニング、ストレッチャー等幅広く対応。
- バッテリー式なので電源コードがなく、移動、取り回しが簡単。

効果

- 介助者の負担軽減
- 被介助者の負担軽減 (痛み、恐怖感、遠慮等)
- 一連の介護の効率化 (2人介助から1人介助、ケアの質の向上)
- 移乗介助が困難な場合 (皮膚トラブル・脱臼リスク・荷重制限等) でも安全に移乗介助を行うことができます。

安全性

- ISO13482取得 「生活支援ロボットの国際安全規格」

【ISO13482 について】 ISO 13482 は、2014年に発行されたパーソナルケアロボット(生活支援ロボット)の安全性に関する国際規格です。ISO13482が想定する範囲は、医療用途で使われるものを除き、利用者の生活の質の向上のためにタスクを実行するロボットの安全要求事項、安全関連制御システムに関するパーソナルケアロボットのハザードに応じた安全要求事項、安全関連制御システムに関する要求事項、使用上の情報(マニュアル等)など幅広いものとなっています。
(出典: JQA 日本品質保証機構のISO13482の説明文より抜粋
https://www.jqa.jp/service_list/fs/service/13482/)

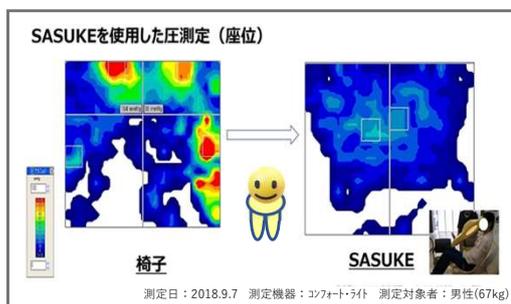


図1 シート上での体圧分散



図2 効果のイメージ

価格

希望小売価格 (RS1-12Y-B) TAISコード 01554-000005	998,000円 (非課税)
専用シートセットMサイズ TAISコード 01554-000007	40,700円 (税込)
専用シートセットLサイズ TAISコード 01554-000006	55,000円 (税込)
送料	実費

お問い合わせ先

製造元: マッスル株式会社

〒541-0042 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋6F

(TEL) 06-6229-9550

(FAX) 06-6229-9560

(E-Mail) healthcare@musclecorp.com

(URL) <https://musclecorp.com/care/>

HPダウンロードページより介護ロボット導入活用事例集2018~2021
(厚生労働省・テクノエイド協会) をご覧いただけます